

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)川口栄町 新築工事	階数	地上13F
建設地	埼玉県川口市栄町	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	120 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年5月 予定	評価の実施日	2019年7月26日
敷地面積	1,015 m <sup>2</sup>	作成者	(株)アーバンライフ建築事務所
建築面積	521 m <sup>2</sup>	確認日	2019年7月26日
延床面積	3,794 m <sup>2</sup>	確認者	(株)アーバンライフ建築事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: A: B+: B-: C:

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レダ-チャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.5

音環境	3.0
温熱環境	3.6
光・視環境	3.6
空気質環境	3.6

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.8

機能性	2.5
耐用性	2.9
対応性	3.0

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.5

生物環境	1.0
まちなみ	2.0
地域性	1.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.2

建物外皮の	4.1
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	2.9

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8

水資源	3.0
非再生材料の	2.6
汚染物質	3.3

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	4.0
地域環境	2.4
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項	
総合	その他
隣地境界線よりなるべく離して計画している。 道路境界、隣地境界、南側隣接開発による貫通路に面し、緑化を行っている。 複層ガラス、LED照明、潜熱回収型ガス給湯器を採用している。	0
Q1 室内環境 専有部分について、断熱等性能等級4とし、高い昼光率を確保している。また、F☆☆☆☆の建材を採用するなど、室内環境の向上に努めている。	Q2 サービス性能 性能評価における劣化対策等級3とし、階高にゆとりを持たせた設計とするなど、建物のサービス性能に配慮した設計としている。
Q3 室外環境(敷地内) 標準的な配慮を行っている。	
LR1 エネルギー 断熱等性能等級4、建物全体のBEI=0.70とし、建物の省エネルギー性能の向上に努めている。	LR2 資源・マテリアル LGS下地やノンフロンの断熱材を採用することで、資源・マテリアル項目について配慮を行っている。
	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率74%とし、光害対策に配慮するなど、敷地外環境の向上に努めている。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS**  
**(仮称)川口栄町 新築工事**

欄に数値またはコメントを記入

使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版、C  
評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		<b>Q 建築物の環境品質</b>						<b>2.7</b>	
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>		-	<b>3.5</b>			
<b>1 音環境</b>		<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>			
1.1 室内騒音レベル		<b>3.0</b>	0.49	<b>3.0</b>	0.50				
1.2 遮音		<b>3.0</b>	0.49	<b>3.0</b>	0.50				
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30				
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20				
1.3 吸音		<b>3.0</b>	0.03	<b>3.0</b>	-				
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.6</b>	0.35	<b>4.0</b>	1.00	<b>3.6</b>			
2.1 室温制御		<b>3.0</b>	0.50	<b>4.0</b>	1.00				
1 室温		3.0	0.61	-	-				
2 外皮性能	専有部:断熱等性能等級4	3.0	0.34	4.0	1.00				
3 ソーン別制御性		3.0	0.05	-	-				
2.2 湿度制御		<b>1.0</b>	0.20	-	-				
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-				
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.4</b>	0.25	<b>4.0</b>	1.00	<b>3.5</b>			
3.1 昼光利用		<b>1.9</b>	0.33	<b>4.0</b>	0.50				
1 昼光率	専有部:5.4%	1.0	0.51	5.0	0.50				
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30				
3 昼光利用設備		3.0	0.49	3.0	0.20				
3.2 グレア対策		<b>2.0</b>	0.26	<b>4.0</b>	0.50				
1 昼光制御	専有部:レースカーテンとバルコニーで昼光制御	2.0	1.00	4.0	1.00				
3.3 照度		<b>3.0</b>	0.13	-	-				
3.4 照明制御		<b>3.0</b>	0.29	-	-				
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.5</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00	<b>3.6</b>			
4.1 発生源対策		<b>4.0</b>	0.59	<b>4.0</b>	0.63				
1 化学汚染物質	F の建材を採用	4.0	1.00	4.0	1.00				
4.2 換気		<b>3.0</b>	0.39	<b>3.0</b>	0.38				
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33				
2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33				
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33				
4.3 運用管理		<b>2.0</b>	0.03	-	-				
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50	-	-				
2 喫煙の制御		1.0	0.50	-	-				
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.8</b>			
<b>1 機能性</b>		<b>2.4</b>	0.40	<b>2.6</b>	1.00	<b>2.5</b>			
1.1 機能性・使いやすさ		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.60				
1 広さ・収納性		-	-	-	-				
2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0	1.00				
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-				
1.2 心理性・快適性		<b>1.1</b>	0.30	<b>2.0</b>	0.40				
1 広さ感・景観		3.0	0.05	3.0	0.50				
2 リフレッシュスペース		2.0	0.05	-	-				
3 内装計画		1.0	0.90	1.0	0.50				
1.3 維持管理		<b>3.0</b>	0.30	-	-				
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-				
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-				
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.9</b>	0.30	-	-	<b>2.9</b>			
2.1 耐震・免震・制震・制振		<b>3.0</b>	0.50	-	-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-				
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-				
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>2.9</b>	0.30	-	-				
1 躯体材料の耐用年数	住宅性能評価における劣化対策等級3	5.0	0.20	-	-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.10	-	-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-				
2.4 信頼性		<b>3.0</b>	0.20	-	-				
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-				
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-				
3 電気設備		3.0	0.20	-	-				
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-				
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-				

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>2.9</b>	0.30	<b>3.1</b>	1.00	<b>3.0</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>1.8</b>	0.04	<b>3.2</b>	0.50	
1	階高のゆとり	階高2.9m以上	1.0	0.60	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	2.0	0.40	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.04	<b>3.0</b>	0.50	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.91	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>1.5</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>1.0</b>	0.30	-	-	<b>1.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>2.0</b>	0.40	-	-	<b>2.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>1.5</b>	0.30	-	-	<b>1.5</b>
<b>3.1 地域性への配慮、快適性の向上</b>			<b>1.0</b>	0.50	-	-	
<b>3.2 敷地内温熱環境の向上</b>			<b>2.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.5</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>4.2</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>		断熱等性能等級4	<b>4.1</b>	0.20	-	-	<b>4.1</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>3.0</b>	0.10	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>		[BEI][BEIm] = 0.70	<b>5.0</b>	0.50	-	-	<b>5.0</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>2.9</b>	0.20	-	-	<b>2.9</b>
集合住宅以外の評価			<b>2.5</b>	0.14	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		2.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			<b>3.0</b>	0.86	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.8</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
<b>1.1 節水</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			<b>3.0</b>	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>2.6</b>	0.60	-	-	<b>2.6</b>
<b>2.1 材料使用量の削減</b>			2.0	0.10	-	-	
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>			3.0	0.20	-	-	
<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>		-	3.0	0.20	-	-	
<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>		-	1.0	0.20	-	-	
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>			2.0	0.10	-	-	
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>		LGS下地を採用	4.0	0.20	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.3</b>	0.20	-	-	<b>3.3</b>
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			<b>3.5</b>	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ノンフロンの断熱材を採用	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.2</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		ライフサイクルCO2排出率74%	<b>4.0</b>	0.33	-	-	<b>4.0</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>2.4</b>	0.33	-	-	<b>2.4</b>
<b>2.1 大気汚染防止</b>			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>			<b>2.0</b>	0.50	-	-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			<b>2.7</b>	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.2</b>	0.33	-	-	<b>3.2</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>4.4</b>	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインの過半を満たし、広告物照明を未使用	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

# CASBEE埼玉県

# 重点項目シート







使用評価ソフトウェアバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	(仮称)川口栄町 新築工事	BEE	1.1	BEEランク
------	---------------	-----	-----	--------

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO <sub>2</sub> の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
4.0	+	1.6	=	5.6 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上  	非常によい 6.8以上   	すばらしい 8.0以上    	

## 3 重点項目についての環境配慮概要

<b>(1) ライフサイクルCO<sub>2</sub>の削減</b>		スコア平均	4.0
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	4.0
ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率74%			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	1.6
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0

 : 入力欄